

今回の展示について

青木繁は28歳8ヶ月で早世しました。

「海の幸」を描いたのが明治37年、「わだつみのいろこのみや」が40年、そして放浪の果てに息絶えたのが明治44年3月。

まさに天馬の如く空を駆け抜けた生涯でした。今回の企画展では梅野記念絵画館収蔵のデッサンと青木繁の熱烈なる収集家F氏所蔵の未公開デッサンを展示いたします。

- ・デッサン「落葉径」「妙義山戯画」「松井田駅」「ギリシャ武人」「眼」「神話の男とかがめる女」「漫画風顔」「カット風の風景」ほか
- ・「春鳥集下絵」「竝琴をもてる女」ほか
- ・「競秀峰」「羅漢寺」「蜘蛛手網小屋」ほか
- ・梅野宛書簡「房州絵入り書簡」「死の前月の手紙」
- ・香盒、パレット

*「海の幸」「わだつみのいろこの宮」石橋財団石橋美術館蔵は複製展示です。



絵付楽焼き香盒 2種

2015年展覧会スケジュール

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
大展示室	林 倭衛展 4/11~6/28	私の愛する 一点展 7/4~8/30	とうみ現代 彫刻三人展 9/5~10/25	山内達雄展 10/31~1/17	改修工事のため休館	梅野記念絵画館 の美展						
ふれあい館	青木繁 デッサン展 4/11~6/28	清水 勝の 動物画 7/4~8/30	梅野コレクション =彫刻展 9/5~10/25	荘司貴和子 アンコール展 10/31~1/17							市民ギャラリー 未定	

2015年イベントスケジュール

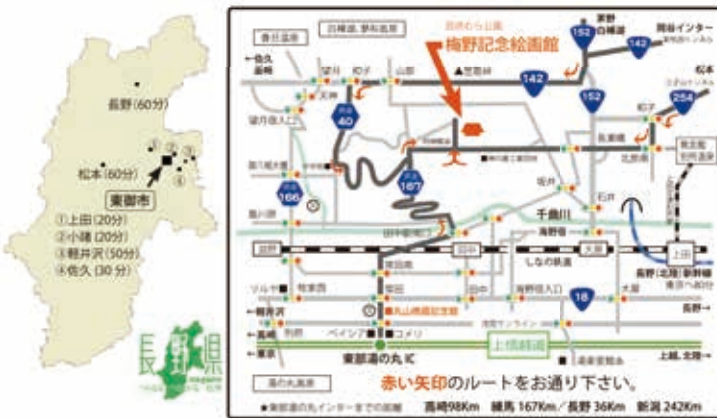
- 4月26日(日) 桜の季節の物語コンサート 前売り1500円13:30~
(美咲蘭とドラマシューレ星座・語りの会)
- 5月24日(日) ヴィオラコンサート (要予約)入館料800円13:30~
- 6月20日(土) 青木繁を語る(館長 佐藤修)入館料800円13:30~

施設情報、開館案内

東御市梅野記念絵画館 <http://www.umenokinen.com/>
〒389-0406 長野県東御市八重原 935-1
TEL0268-61-6161 FAX0268-61-6162 umenokinen@ueda.ne.jp
開館時間 午前9時~午後5時(4時30分迄にご入館ください)
入館料 800円(高校生以上)団体割引700円(15名以上)
身障者割引、学校利用減免、減額制度もあります。
休館日 4月13、20、27日5月7、11、18、25日6月1、8、15、22日

アクセス

- お車** 練馬ICから2.5時間
- 鉄道** 東京から最速2時間
しなの鉄道「田中」下車、タクシー15分
- ◆関東、北陸方面から
上信越道東部線の丸インターから15分
- ◆関東、北陸方面から
北陸新幹線「上田」で、しなの鉄道乗換、田中下車。
- ◆中部、関西方面から
長野道岡谷インターから新和田トンネル、R142号経由で約1時間
- ◆中部、関西方面から
特急しなの号利用「篠ノ井」で、しなの鉄道乗換、田中下車



地域の情報をラジオで発信! Tune Power! エフエムとうみ 78.5MHz

リクエスト、メッセージは m@fmtomi785.jp



青木繁デッサン展

2015年4月11日(土) ~6月28日(日)

梅野
記念
絵画館
www.umenokinen.com

同時開催: 林 倭衛 展

オープニング ギャラリートーク
4月11日(日)13時~林聖子氏父を語る
林倭衛展 展示替えがあります(5月19日~)
上記作品: 落葉径・松井田駅

〒389-0406 長野県東御市八重原935-1 TEL.0268-61-6161 FAX0268-61-6162

青木繁デッサン展

館長 佐藤 修

明治の天才画家・青木繁は、油彩画「海の幸」「わだつみのいろこの宮」などで知られていますが、明治35年の秋、弱冠二十歳のときに描き残したデッサンにその天才振りがうかがえます。坂本繁二郎、丸野豊と妙義から小諸まで歩きとおした時のスケッチ、世に「妙義画稿」と呼ばれている一連の作です。

今回の展示では、この「妙義画稿」のほか、かつての所蔵者・梅野家からF氏に譲られた青木のデッサンを、梅野記念絵画館に収蔵されているものと合わせて展示します。青木から梅野満雄に宛てた「房州絵入書簡」や絶筆書簡なども公開します。

日本が急激に変貌していくなかで、彗星のように輝きを放って駆け抜けていった夭折の天才画家・青木繁の若き日のデッサン展です。



眼



わだつみのいろこの宮 (複製)
石橋財団石橋美術館蔵



わだつみのいろこの宮下絵



わだつみのいろこの宮下絵



漫画風戯画



男の顔



アーティストックアトリー



展覧会参考



ギリシア武人